

▽▲組合本部活動だより▲▽

《外航部》

第41次派遣海賊対処行動上部隊の帰国行事

ソマリア沖・アデン湾における海賊対処のため、自衛隊および海上保安庁が海賊対処活動に従事している。

8月10日、海上自衛隊呉地方総監部において、7カ月に及ぶ任務を終えた第41次派遣海賊対処行動水上部隊の帰国行事が開催され、本組合から池谷義之国際局長のほか2人が出席、関係者などとともに護衛艦「さみだれ」の乗員約220人（海上保安官8人同乗）の帰国を出迎えた。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策が講じられたなかでの帰国行事は、検疫や感染防止の関係から「さみだれ」の乗組員は栈橋に着岸している護衛艦の艦上に整列し、艦艇と岸壁に分かれた形で式典が執り行われた。

帰国行事では、艦上より、第4護衛隊司令の高橋秀彰1等海佐が帰国の報告をした後、呉地方総監伊藤弘海将が防衛大臣の訓示を代読した。

来賓者紹介時、本組合の池谷国際局長より、船員とその家族を代表し、船員を守っていただいた護衛艦乗組員の活動に対して感謝を伝えた。

「海員だより」